

[CASE 01]

わたなべ じゅんこ 渡辺 淳子さん

河北町消防団本部(女性消防団)

いざという時の知識も経験も 消防団活動を通して身に付けられる



山

形市出身の渡辺さんは、結婚を機に河北町へ移住。家業であるスポーツ店へ訪れるお客様との出会いが入団のきっかけだと振り返ります。

「当時、河北町の消防団長を務めていた方に入団を勧められたんです。スポーツ店の店員だから、運動が得意そうと思われたのかもかもしれませんね。自分に消防団が務まるか自信はありませんでしたが、体を動かすことは好きなので“やってみよう”と思いました」

家族の後押しもあって始めた消防団活動は、今年で15年のキャリアを築くまでに。近年では応急手当普及員の資格も取得し、小・中学校などでの講習会にも力を入れているのだと言います。

「もしもの際に備えることはまず自分自身のためにもなりますし、地域の一人ひとりが心肺蘇生法などを知っていれば、救える命も増えると思うんです。実際に救助現場で困っている人のお役に立てて感謝されることや、救命法の知識を広められることに、私はやりがいを感じています」

Q1 自営業の仕事と両立できますか？

私は自営業なので、家族とスタッフの理解に支えられて消防団活動ができています。たとえば操法大会の訓練は早朝からですし、強制ではないにしても仕事に出動要請されることはあります。ですが、一緒に活動する仲間にもお客様があるので、お店の信頼にもつながっているのではないのでしょうか。

Q2 家族との時間は確保できますか？

消防団活動で地域を守ることは、この町で暮らす自分たち家族のためにもなっていると思っています。夫も私より前から消防団活動をしていることもあって、19歳になった娘とも“消防団やってみる？”と気軽に話すことも。もうすっかり仕事と生活の一部に消防団活動があるといった感じです。



楽しみながらやりましょ
う！消防団活動には「で
きること」が増えていく楽
しさがありますよ♪



1

2

3

4

1. 第18回全国女性消防操法大会の一コマ
2. 河北町の女性消防団は常時8名前後が活動中です
3. 町内の小中学校で応急手当の講習を開催
4. ナカジマススポーツ(河北町)でお仕事中的渡辺さん